

MEDCOAST17会議（マルタ共和国・メリーハ）参加報告

松田 治 国際エメックスセンター副理事長
国際エメックスセンター科学・政策委員

2017年10月31日～11月4日にかけて、マルタ共和国・メリーハで開催されたMEDCOAST17会議に参加しました。この会議はエメックス科学・政策委員のエルダール・オザーン氏が代表を務めるMEDCOAST財団主催により2年に1回、地中海や黒海等の沿岸域にある国で開催されています。

今回の会議はトルコ、マルタ、日本、韓国、ベトナム、エジプト、ロシア等27ヶ国から多くの若手研究者を含む161名の参加者がありました。私は会議初日に開催された「沿岸域管理の実施例」セッションで「瀬戸内海の沿岸管理の新たな方向性」と題して発表をした他、「ブルーエコノミー、海洋空間計画および沿岸統治」セッションでは座長を務めました。

閉会式では3つの優秀なポスター発表の表彰が行われた他、オザーン氏から2018年11月にタイ・パタヤで開催する第12回エメックス会議の案内がありました。

会議期間中には世界遺産のヴァレッタ市街を訪ねるカルチャーツアーや、専門家からマルタ島の成り立ちや自然、地形や地質について説明を受けながらクルーズ船で島の周囲を巡るフィールドトリップが行われ、各国からの参加者と交流を深める機会となりました。



<開会式（中央：オザーン氏）>



<船上にて（左から2人目：松田氏）>